

# 明日に吹く風



## 第21号

春休みに入って、約一ヶ月が経過しました！待ち遠しかった春休みも、いざ迎えてしまおうとあっという間に過ぎてしまいます。春休み期間中も図書館は開いているので、是非とも足を運んでみて下さい。お気に入りの一冊が見つかるかもしれません。

### \* 図書館サポーターズ推薦図書 \*

- 「かしこいビル」 (726.6||N71) 【1F 閲覧室絵本・教科書書架】  
ウィリアム・ニコルソン作 まつおかきょうこ、よしだしんいち訳 ペンギン社

この本は絵本ですが、幼児から大人まで楽しめる一冊となっています。「かしこいビル」は主人公のメリーの近衛兵の人形です。おばさんから遊びにおいでと手紙を貰い、トランクに人形のスーザンや手袋、靴と一緒にビルも入れようとしたのですが、なかなかうまく入りません。あれこれしているうちに、ビルだけ入れ忘れて出かけてしまいます。ビルはなんと「はしって、はしって、ぜんそくりょくではしって」とうとうメリーに追いついてしまうのです。

内容はただそれだけなのですが、ビルが泣いたり走ったりするのが面白いです。また、その話にあった絵で、ページのめくりにも大きな意味があり、次に何が起こるのかわくわくします。また、文字の手書きっぽさも素朴で良い雰囲気を出していると思います。(I.Y)

- 「はじめてのおつかい」 (913.8||Ts93) 【1F 閲覧室絵本・教科書書架】  
筒井頼子作 林明子絵 福音館書店

「みいちゃん、ひとりでおつかいできるかしら」。いつつになったみいちゃんは、赤ちゃんの牛乳を買いに百円玉を二つ握りしめ、おつかいという大冒険にしゅっぱーつ！心のドキドキが今にも聞こえてきそうです。しかし、お店まであと少しのところまで転んでしまいます。みいちゃんの手からお金がころころ転がって…。お店にたどり着き、ようやく牛乳

を買うことができたみいちゃんの間からは涙が「ぼろん」とこぼれます。

誰もがいつか必ず体験する「はじめてのおつかい」。お姉さんになったことで芽生えた責任感がみいちゃんの間を動かし、一步一步前に進んでいきます。無事に牛乳を買うことができたみいちゃん。そしておばさんの温かさに触れ、ずっと我慢していた涙がこぼれたとき、読み手の心の温かくなることでしょう。私がみいちゃんのお母さんだったら、よく頑張ったねとほめてあげたくなる…そんなお話です。(T.K)

●「村上春樹、河合隼雄に会いに行く」 (140.4 | Mu43) 【B1F 閲覧室和書】

河合隼雄・村上春樹著 岩波書店

この本は、昨年話題になった『1Q84 (ichi-kew-hachi-yon)』の著者である村上春樹さんと、日本におけるユング心理学の第一人者であり、箱庭療法の導入者でもある心理学者・河合隼雄さんの対談をまとめたものです。対談ということもあり、文章自体は会話形式で書かれているので、非常にテンポが良く、臨場感があります。

小説家や翻訳家として有名な村上春樹さんですが、この本に納められている対談の中で、自らの小説や翻訳に対する考え方を述べている部分もあり、とても興味深い内容になっています。この本を読むことで、村上春樹さんの小説や翻訳をより深く味わうことができるようになるかもしれません。また、箱庭療法や癒しなどについても書かれているので、心理学に興味のある人にとっても面白い内容になっていると思います。ぜひ一度、手にとって読んでみて下さい♪(A.U)

●「世界でいちばんやかましい音」 (726.6 | E47) 【1F 閲覧室絵本・教科書書架】

ベンジャミン・エルキン作 松岡享子訳 大田大八絵 こぐま社

この「世界でいちばんやかましい音」という絵本は、とにかく大きな音が大好きな王子が出てくる絵本です。この絵本に登場する人々は、その王子のために日常生活の中でも大きな音を出そうと心掛けています。例えば、ドアを閉めるときは思いっきり蹴飛ばして閉めたり、会話するときもお互い大声で話したり…。ある日、王子の誕生日が近づいたので、人々が王子に対し何が欲しいのかを聞くと、王子は「世界でいちばんやかましい音が聞きたい」と言いました。これを聞いた人々は、世界中の人々が同じ時間に一齐に叫べば大きい音が出せるのではないかと考えました。しかし、誕生日当日起きてはならない事態が起きます。一体どうしたのでしょうか…!?

と、ここからはご自分の目でお確かめ下さい。私は最後まで読んだので結末は知っていますが、ハラハラドキドキ面白い話でした。ぜひ図書館で探して読んでみて下さい。(Y.S)

## ●「サマーウォーズ」

岩井恭平著 細田守原作 角川文庫

今回紹介する本は、昨年映画化した「サマーウォーズ」という本です。この作品の主人公、小磯健二は冴えない高校生。そんな彼が、憧れの先輩・篠原夏希に、「四日間だけファンセのふりをして！」とアルバイトを頼まれ、長野の田舎まで行くことに。事の発端となった夏希の曾祖母・栄を中心とした個性的な親戚一同に囲まれながらも大役を果たそうとする健二のもとに、謎の数式が届く。数学が得意な彼は夢中で問題を解くが、それが原因で世界が混乱してしまう。世界の危機を救うため、健二、夏希、親戚一同が立ち上がる！！

この作品を読んでから見るか、見てから読むか、楽しみ方はあなた次第です。(R.M)

## \* 図書館 2F AV ラウンジの名称が決定しました！ \*

募集していた図書館 2F AV ラウンジの名称が、この度、**アイスリーラウンジ**に決定いたしました。たくさんのご応募、ありがとうございました！！

4月からは、このラウンジでの飲食が可能になります。お弁当を食べることもできますので、ぜひ活用して下さいね。また、1F に設置してあったマンガ書架もアイスリーラウンジに移動しました。勉強の合間の息抜きにどうぞ★

マナーを守って、楽しいスペースにしましょう！

